



ながしま

議会だより

NO.29

豊かな自然に 育まれる長島米

植え付けて間もない普通期水稲と
収穫間近の早期水稲が隣り合わせ
(三船地区)

6月定例会

(H25.6.10～6.19)

定例会で決まったこと.....	2～5
町政を問う（一般質問）.....	6～8
常任委員会の審査報告.....	9～10
研修報告.....	11

平成25年度の一般会計予算に

平成25年度の一般会計補正予算のほか、簡易水道、農業集落排水、漁業集落環境整備、特定地域生活排水処理の4特別会計補正予算を原案可決した。
今回、計上された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

防災行政無線のデジタル化に伴う調査、設計	21,000 千円
浦底分団三船班消防格納庫新設のための設計委託	1,200 千円
浦底分団三船班消防格納庫の新設工事等	18,698 千円
中央分団のポンプ車、積載車の更新	25,000 千円
津波、土砂災害ハザードマップ作成	5,000 千円
赤崎の崩落箇所防除工事	7,973 千円
防災関連の非常用発電機購入	7,791 千円
獅子島地区の再生エネルギー調査研究	2,000 千円
戦略産品の海上輸送費補助（獅子島地区）	4,664 千円
地域包括ケア体制推進コーディネーターの設置	1,952 千円
海岸漂着物の回収、処理や発生抑制対策	32,370 千円
幣串漁港への取付道路の改良工事	3,000 千円
小浜崎古墳群展望公園と針尾公園の整備	42,566 千円
林道七郎山線の改良	9,525 千円
風力発電施設を観光資源に活かす道路開設（春木が岡線）	25,525 千円
蔵之元、指江、広野、山中の農道整備	78,000 千円
指江中央線、薄井港線の改良	58,800 千円
第二浦底橋の補修	10,000 千円
長島港（城川内地区）の防波堤改良	13,100 千円
長島町開発総合センター玄関前のタイル補修	3,000 千円



中央分団のポンプ車を更新



指江中央線を改良



春木が岡線を開設

8億4410万2千円追加 総額95億1448万円



行人岳線の整備状況を確認する建設経済文教常任委員会

平成25年第2回長島町議会定例会は、6月10日から19日までの10日間の会期で開かれた。平成25年度の一般会計補正予算（8億4410万2千円追加、総額95億1448万円）や特別会計補正予算、長島町地域防災計画（原子力災害対策編）の策定、長島町職員及び町長等の給与の臨時特例に関する条例の制定など議案11件、承認2件、報告1件を可決、諮問1件を答申、陳情1件を一部採択した。

このほか、議員発議により町議会議員の報酬の臨時特例に関する条例を制定し、議会活性化推進特別委員会を設置した。

なお、町議会の活性化を目的として、今回の定例会から一般質問を従来の一括答弁方式と一問一答方式の選択とした。

報告

歳出予算の繰越

平成24年度長島町一般会計と簡易水道特別会計の繰越明許費に係る歳出予算（サンセットストーンパーク取付道路整備事業Ⅱ2490万円、町道整備事業Ⅱ3億7334万5千円、鷹浦地区簡易水道再編推進事業Ⅱ1億350万9千円など）の繰越について報告された。

※繰越明許費Ⅱ歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由により当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、予算の定めるところにより翌年度に限り繰り越して使用することができるもの。



H25へ繰り越されたサンセットストーンパークの取付道路整備

計画

地域防災計画を策定

町民の生命、身体、財産を原子力災害から保護することを目的とする、長島町地域防災計画（原子力災害対策編）を定めた。



県が田尻に設置した放射線量の測定器

契約

備品購入契約の締結

長島町立学校給食センターの食器・食缶洗浄機を購入する契約を薩摩川内市の株式会社川内厨房食器と2799万7200円で締結することを議決した。



給食センターの食器・食缶洗浄機を更新

条例

教職員住宅条例の一部を改める

獅子島地区の小学校の統廃合に伴う名称変更と、獅子島小学校一般教職員住宅1戸、幣串小学校一般教職員住宅1戸、獅子島中学校一般教職員住宅1戸の計3戸を建設課に所管換えしたため、長島町教職員住宅条例の一部を改正した。

町営住宅条例の一部を改める

教育委員会から所管換えのあった教職員住宅を、新たに町営住宅にするため、長島町町営住宅条例の一部を改正した。



町営住宅として活用される獅子島の教職員住宅

条例

基金条例の制定

国の平成24年度補正予算により創設された地域の元氣臨時交付金を平成26年度の事業に充当するため、長島町地域の元氣臨時交付金基金条例を設置した。

職員と町長等の給与を削減

長島町の職員と町長、副町長、教育長の給料を削減するため、長島町職員及び町長等の給与の臨時特例に関する条例を制定した。

この条例により、平成25年7月から平成26年3月まで給料月額を町職員は3・3%、町長は10%、副町長と教育長は5%削減する。

長島町議会議員の議員報酬を削減

長島町議会議員の議員報酬を削減するため、議員提案により長島町議会の議員の議員報酬の臨時特例に関する条例を制定した。この条例により、平成25年7月から平成26年3月まで議員報酬月額を3%削減する。

専決処分の承認

平成24年度の長島町一般会計と国民健康保険、国民健康保険診療施設、へき地診療施設、介護保険、簡易水道、後期高齢者医療の6特別会計の補正予算を専決処分したことが報告され、承認した。

専決処分の承認

長島町税条例の一部改正と長島町国民健康保険税条例の一部改正を専決処分したことが報告され、承認した。

サンセット長島に関する陳情

長島町蔵之元の有限会社長島観光プランニング代表取締役小川勇氏、取締役運営委員長杉本健勇氏から提出され、平成24年第3回議会定例会から継続審査となっていた「サンセット長島に関する陳情書」の陳情事項1件を採択し、2件を不採択とした。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の下平隆康氏（矢堂）が平成25年9月30日で任期満了となるため、引き続き同氏を人権擁護委員の候補者として推薦するための意見を諮問されたので、適任者として答申した。

議会活性化推進特別委員会を設置

平成25年4月1日から施行されている長島町議会基本条例を推進し、長島町議会の活性化を図るため、6人の委員で構成する長島町議会活性化推進特別委員会（川上勇委員長）を設置した。

一般質問 町政を問う

原口 秀昭 議員



る。町長の考えを問う。

バレイショ産地維持、再生に対する考え方、今後の作付け、再生策は

原口議員 本町の基幹

作物であるバレイショについて、平成23年度は疫病発生、平成24・25年度は、価格の低迷と連続で打撃を受け、「バレイショの時代は終わった」と思われ、また、生産意欲の減退、低下を憂慮している。再生産可能な安定価格の販売ができる強い産地作りが望まれている。

答弁 町長 バレイ

ショに対する状況認識は同感である。作付けについては、土地条件、気象状況等勘案し、栽培農家の意向を踏まえつつ適正な植え付け時期を示すとともに、他産地の作付け状況の情報を収集し対応する。

産地再生対策については、競合する産地の栽培面積拡大、北海道産バレイショの出荷時期延長等見られること

から、消費者ニーズの高い品種の導入などの検討を含んだ振興策を町内関係団体と連携しながら策定していく。栽培技術については、県農業開発センターと連携をとり、長島の赤土バレイショのための試験に取り組んでもらえるように協議を重ねている。

長島ブランド作りの考えはないか

原口議員 今後は、長

島の気候風土に合った作付体系を作り品質の向上の取り組みを強化し、県ブランド指定を補完するため、長島独自のブランドを作り有利販売につなげる考えはないか。

答弁 町長 ブランド

作りについては、他産地に先駆けて消費者が好み、生産者の所得向上につながる品種の導

入を行いブランド作りにつなげたい。減農薬栽培、水田と畑の差別化、島外からの持込みも見られるが、これらについては厳しい条件を付して、長島の独自性を出すことも必要だと思う。

流通対策で通信販売、ネット販売の考えは

原口議員 農家にとつ

て、一番不得手な部門が流通販売の問題だと思ふ。専門の指導員を置き、直販導入の考えはないか。

答弁 町長 流通対策

については、今まで集出荷施設の整備を行ってきた。今後は、市場調査等を行い、関係団体と連携を図り、新たな市場開拓を行い、さらに他産地の出荷状況や新たな消費形態の把握のための調査活動等

を行う。生産者に対して情報提供を迅速に行っていく。

六次産業推進状況と今後の支援策は

原口議員 六次産業化

については、農家の所得確保のために、県、県も推進している。本町においても支援しているが、これまで支援したグループの状況と計画に対する進捗状況と今後の支援策は。

答弁 町長 平成24年

度水産加工6グループの育成を支援、1グループ3～6人で運営している。水産加工工場は、4グループが新設、1グループは改築を行い、備品の整備を行う。魚介類の乾物、練り製品、海藻の加工等多品目にわたっている。1グループは施設の建設、試作品作りで売り上げなし、5グループ

の総売上げは1千万円、町のイベントやだんだん市場、道の駅等で販売。

農産物加工グループは、片側の柑橘類を利用した加工品を目指す「野の花工房」に支援している。設立が昨年12月で試作段階である。

今後の対策については、安全安心、健康志向の売れる商品開発、大手加工業者との差別化。水産加工グループについては、県の事業を活用して販路拡大等効果的な販売促進活動を実施し、技術や知識の習得を図る。

農産物加工グループについては、価格低迷が続く状況下、付加価値をつけて所得向上を目指す意欲のある農業経営体があれば、積極的に国の支援策等導入して支援していきたい。

児島 薩男 議員



汐見漁港砂溜まり対策は

児島議員 汐見漁港

は、干潮時に船底があたり航行できないときがある。完成後10回ほど浚渫工事を行い、そのつど浚渫の要望をしている。1回に4～5百万円の工費がかかる。

このことについて潟集落から改善策の要望があったと聞く。町の回答は潮流調査等を行うとのことであったが、その後の対応について伺う。

平成26年度機能強化事業を実施する

答弁 町長 平成26年

度に汐見漁港の機能保全計画策定事業を計画している。この事業で砂が溜まる原因を調査する。その結果を踏まえて機能強化事業で防波堤等の施設改修工事の実施・見直しを含めて検討したい。

潮流調査も踏まえ、

県専門家・地元の見聞等を含めて協議したい。

ナイター施設の使用料を軽減する考えは

児島議員 体育施設を

スポーツ少年団が使用する場合、町が後援す

る場合、その他教育委員会が必要と認めたときは5割軽減の規定がある。

本町は、生涯学習充

実を図る観点から「いつでも・どこでも・だれでも」スポーツが楽しめる環境づくりを推進している。一般のスポーツ団体等がナイター施設を使用する機会が多い。一般のスポーツ団体等の使用料の軽減はできないか、教育長の考えを伺う。

使用料の軽減は考えていない

答弁 教育長 本町の

夜間照明使用料は900円から2400円で、近隣の出水市・阿久根市からしても高い

料金設定ではない。使用料の軽減は大事な要件の一つである。教育委員会としては町内で行われる各種大会に補助金を出している。今

後も充実を図っていく考えである。使用料の軽減は負担の公平性から考えていない。

TPP政策に対応できる長島町の農業振興策について伺う（具体的振興策は）

児島議員 赤土バレイ

ショが昨年に引続き今年も価格が低迷したため、農家の所得が昨年以上に落ち込んだ。しかも、TPP参加による国の政策を考えたとき、将来の長島町の農業を見直す岐路にあるのではないかと考える

が、長島町の畑作振興について町長の考えは。

甘藷とバレイショの輪作体系を確立する

答弁 町長 仮にTP

Pに参加が決定し、農産分野の重要5品目が守られたとしても長島

のバレイショは守れないと思う。本町の具体的な振興策は、バレイショと同様に甘藷を畑作振興策と位置づけ、焼酎芋・加工芋への転換を推進していく。特に、畑作における甘藷とバレイショの輪作体系を検討し、作付面積の調整を行う。また、早春バレイショ作付け前に、生産者に振興方策を提示できるように県・JAと連携して進める。

バレイショの今後の見通しは

児島議員 ①昨年のJ

Aの長島バレイショの販売高は15億円、今年は概ね9億円とのこと。今年の価格が予想以上に安かったがその原因は。

②長島のバレイショを守るためには安心・安全な商品としての位置づけが今後ますます重

要と考えるが。

③長島のバレイショを守るため最低価格補償制度確立の考えは。

④関東・関西方面への消費拡大のための更にPRも必要と思うが、その考えは。

安心・安全の確保と所得補償制度の確立を国に求める

答弁 町長 ①生産過剰と考える。2～3割の生産調整をすべきと考える。

②TPPにより外国から安い農産物が国内に出回ると食の安全が損なわれる。安全なものは高く売れる。生産履歴の整備等を含め安心安全確保に努める。

③所得補償制度の確立が必要だ。価格が一定額を超えた場合は積み立てていく制度確立を強く国に訴えていく。④消費拡大のため関係者一同PRに努める。

古田 一博 議員



観光長島を目指す振興策は

①観光バスツアーによる、観光客増加策の考えは

古田議員 長島観光案内所での、バスツアーに関する問い合わせが多く、中でも長島の素晴らしさにもう一回触れてみたい、イベントごとにバスツアーを楽しみにされている、1500名の長島ファンクラブ会員を中心とした観光客の生の声を大事にしバスツアー事業の推進を、今以上に強化すべきである。

のか今後の取り組みについて伺う。
誘客を促進する
答弁 町長 魅力ある観光地づくりに取り組んでおり、バスツアーによる観光客誘客の企画は、平成22年度から実施。3年間合わせて2400名の方が、バスツアーで長島を訪れておられる。
本年度は、造形美術展開催の年でもあり、島の味わい事業で、観光客誘客促進をする。経済効果も大きいことから、造形美術展でのバスツアーも増やしていく考えである。

②文化ホール周辺の駐車場増設の考えはないか
古田議員 文化ホール周辺でのイベントにおいては、大勢の方々が楽しみに来場される。しかし、駐車スペースが少なく不便を感じている。

駐車場を近くにまとめるために、文化ホール下の町有地の広場に300台収容できる二階建ての駐車場を建設する考えはないか。大型イベントの無いときは、一階をグラウンドゴルフ場として、誰でも利用できるようにすべきであると思うが、何か他に考えがあるのか伺う。
文化ホール周辺の見直しと同時に実施
答弁 町長 駐車場さえあれば、本会場へ行けない状態も解消でき



駐車場整備が望まれる文化ホール周辺

き、来場者もおそらく今以上に増えるであろう。
その地形と自然の状況と二階建ての駐車場がそぐうのかどうか。観光の事業を進める中で、長島には、現代風の宿泊施設が必要であると考え、文化ホール周辺の見直しと同時に駐車場の整備も実施していく。

次回定例会は
9月上旬 開会予定です



傍聴に おいでください

長島町議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。次回定例会は、9月上旬の開会を予定しています。皆さんの傍聴をお待ちしています。
なお、役場ロビーや長島町ホームページでも議会中継を見ることができます。

常任委員会の審査報告

各常任委員会の主な審議内容を紹介

総務民生常任委員会 委員長 小川 武男

▼総務課関係

問 防災行政無線整備費で測量設計委託料2100万円の内容と今後の計画は。

答 アナログ放送からデジタル放送へ移行するための電波伝搬調査および実施設計を行う。

実績がある九州内の5〜6社を予定し、平成28年度完了の予定で総事業費10億円程度を見込んでいる。

問 災害対策費500万円の内容は。

答 津波、土砂災害等ハザードマップ作成に伴う印刷製本費で、町全体図と地域拡大図を作成し、各地域分は全

▼企画財政課関係

問 企画総務費30万円の内容は。

戸に配布し、住民の生命・財産を災害から守るために必要な災害対策を行うとともに、防災関連の資機材整備や住民の防災意識向上を図っていく。

答 ふるさと納税3万円以上の寄付者へプリフィレを送る経費で、昨年度の実績で算出した。これは、ふるさと納税を推進するものである。

▼町民福祉課関係

問 地域支え合い体制づくり事業費195万2千円の内容は。

答 離島活性化交付金事業の戦略産品海上輸送補助金の内容は。海上輸送費補助金

▼保健衛生課関係

問 起業支援型地域雇用創造事業の委託料734万6千円の内容は。

また、町の職員で組織している「としび隊」の再編を行う。

問 長生園管理費134万6千円の内容は。

答 介護を要する入所者の増加に対応するため、臨時職員を1人採用し入所者の生活の安定を図るもの。

今後は、介護度の高い入所者については、特別養護老人ホームへの入所を勧めていく。

問 民間企業等の雇用創出を支援するため、通所介護事業等のサービスを提供する事業所へ委託して、介護・福祉分野の人材の確保・育成を図る。

介護・福祉分野充実事業は、蔵之元でデイサービス「達者の家」

▼委員会所見

浦底分団三船班消防格納庫建設予定地を含め、6カ所の現地調査を実施した。中でも赤崎地区の崩落箇所防除工事は、崩落箇所のみ

の防除工事で完全でなく、今後は保安林に指定し、県の治山事業で工事し、地域の安全を確保してほしいとの全委員の意見であった。

※議案第54号長島町地域防災計画（原子力災害対策編）を定めるこ

とについては、長島町の一部が30kmの範囲に含まれるため、長島町地域防災計画に原子力災害対策編を追加するもの。
*議案第56号長島町地域の元気臨時交付金基金条例の制定については、国の平成24年度補正予算により創設された地域の元気臨時交付金を平成26年度の事業に充当するため、基金を設置するもの。



ま ち の 話 題



地元選出国會議員と町議会が意見交換

町議会が TPP に関する要望行動

長島町議会は5月18日、霧島市の鹿児島空港ホテルで地元国會議員へ TPP に関する要望行動を実施した。

日本は TPP 交渉に参加することとなった。農林漁業を主産業とする本町は、第一次産業従事者や関係機関にとって危機的な状況となる。

そこで長島町議会は、3月の定例会で決議した「環太平洋連携協定（TPP）交渉における慎重な交渉を求める決議」を柱とした要望書を地元選出国會議員3人へ提出し、意見を交換した。

26 チームが出場し熱戦

8回目を迎えた自治公民館対抗バレーボール大会が、7月8日から12日までの5日間の日程で開催された。

同大会には町内の24自治公民館から26チームが出場し、2つのランクで予選、決勝大会が行われ、熱戦が繰り広げられた。

各ランクの優勝チームは次のとおり。

Aランク 薄井Aチーム

Bランク 山寺チーム



熱戦が繰り広げられたバレーボール大会

◆編集後記

昨年は6月豪雨により河川・農地・道路等、甚大な災害がおこり心配しましたが、今年はこれまで大きな災害もなく、田植え・甘藷の植え付けも終わり、ほっとしていらつしやることと思います。

しかしながら、長島ブランドのブリ・バレイショの価格低迷で、これからも取り巻く環境は厳しく、生産者の皆様の生活基盤をゆるがす状況となっています。

これからは、量より安心・安全、品質の良いものが求められますので、一緒に知恵を出し合い、消費者の方々のことを考え、販売力を高めるためにも、生産者の皆様が所得向上に向け努力しましょう。

町民の皆様、これからも厳しい真夏日が続く日々となります。熱中症など十分気をつけ、水分を多くとりながら、健康管理に努め、元気で過ごしてください。（石橋）

【編集責任者】植元 敏光

【編集委員長】林 義明

【編集副委員長】古田 一博
【委員】川上 勇
福永 伸親
石橋 東